

患者さんの声～私のがん体験記 in メディカルサロン・すまいる～

患者さんの体験談 vo3. 2017.10.17

- ・性別：男性
- ・年齢：85歳（診断を受けた年齢70歳）
- ・疾患名：下行結腸がん（StageⅢa）
（呉羽総合病院・外科にて左半結腸切除術、化学療法施行）

私の病気

2002年の秋、当時、糖尿病・高血圧でかかりつけであった呉羽総合病院の内科の先生から、定期検査として大腸の検査をしてみませんか？と勧められ、軽い気持ちで検査を受けました。その結果、便潜血反応が陽性ということで、直ぐ大腸内視鏡検査を行うことになりました。

診断は下行結腸がん。まさか自分がと頭が真っ白になりました。内科の先生から手術で完治している例もあるのでと説明を受け、また、家族の支えもあり、冷静に治療しようと考えられるようになりました。主治医が内科から外科の先生へ変更になり、病状や手術のことなど丁寧に説明して下さいました。

手術と入院

2002年12月、手術を受けるため入院しました。手術に対し不安がありましたが、主治医の先生が分かり易い説明をして頂いたことや看護師さんの励ましで不安が和らぎました。術後は抗がん剤治療を行いました。経過は順調で翌年の正月明けに無事退院できたときには感無量でした。手術を下された呉羽総合病院の主治医の先生、支えて下さった看護師さんに心から感謝申し上げます。

経過と現在

退院後は、定期的に外科外来に通院し、血液検査や大腸内視鏡検査を行っていただき、無事5年を経過したときは妻と一緒に安堵いたしました。その後も定期的に通院・検査をして頂き10年が経過。お陰様で今年15年目を迎えます。腸閉塞になりやすいとのこと、主治医の先生に相談しながら食事には気を付け、趣味を嗜みながら生活しております。



“メディカルサロン・すまいる”に参加し、緑川院長と会話を楽しむご本人



メディカルサロンの参加者の皆さん～おやつのエクレアを食べながら会話を楽しいでいる様子～